

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、
本誌に掲載された討論会に関する情報は、
下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

令和7年度第2回材料科学
基礎講座
実践表面分析セミナー

主 催 日本材料科学会

協 賛 日本化学会

会 期 11月26日(水)、27日(木)

開催方式 対面式

会 場 (株)島津製作所本社本館(京都市中京区西ノ京桑原町1) [交通] 地下鉄東西線「西大路御池」駅4番出口より徒歩3分

参加申込締切 11月12日(水)

表面分析技術は、材料や製品などの表面の特性や機能を決定する構造、状態を分析する手法です。光、X線、電子線などの様々なプローブにより、ナノ領域から目で見える領域の表面を観測でき、材料研究から異物解析などの品質管理まで幅広い分野で用いられています。本セミナーでは、表面上の有機物や無機物の特定、化学状態や組成を分析できる分析手法(赤外分光法、ラマン分光法、X線光電子分光法、EDX、EPMA)の基礎を座学で学び、その後、実際に装置を操作する実習を経験していただきます。表面の見た目のものはどのような手法で見られるのか? どのような条件で見られるのか? など適した分析手法の選定から分析ノウハウまで習得できる内容となっております。表面分析の基礎から実践まで網羅した内容になっております。なお、本講座終了後には終了証書(当講座終了証)を発行いたします。

参加費 日本材料科学会会員 25,000円、日本化学会会員 28,000円、非会員 42,000円、日本材料科学会学生会員 15,000円、学生非会員 18,000円

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 102-0081 千代田区四番町8-1 (株)裳華房内 一般社団法人日本材料科学会 基礎講座係 E-mail: mssj@shokabo.co.jp <https://mssj.or.jp/kikaku2/2025/r7-2.pdf>

第61回植物化学シンポジウム

—植物メタボライトの多様性—

主 催 植物化学研究会

後 援 日本化学会

会 期 11月28日(金)13時~18時

開催方式 対面式

会 場 東京大学弥生キャンパスフードサイエンス棟 中島重一郎記念ホール(文京区弥生1-1) [交通] 東京メトロ南北線「東大前」駅徒歩1分/東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目」駅徒歩12分

1. 会長挨拶
2. 開会挨拶
3. ジャスモン酸類による根寄生植物の発芽誘導(明治大農) 瀬戸義哉
4. イネの生物活性ジテルペン生産における制御機構の進化軌跡(東大アグロバイオテクノロジー研究セ) 岡田憲典
5. 多成分の植物由来揮発性有機化合物の高感度リアルタイム質量分析法の開発と応用(横浜大院生命ナノシステム科学) 関本奏子
6. 蘇類におけるent-カウレンシ生成からイソプレニシ生成への進化生物有機化学(農工

大農) 川出 洋

7. 植物トリテルペノイドのバイオテクノロジー生産技術開発(阪大院工) 關 光

8. 種子圏をモデルとした動物—植物間化学コミュニケーション機構の解明(千葉大院薬) 石川勇人

9. ポスター発表

10. 総会

11. 松尾仁賞授賞式、閉会挨拶

ポスター発表 E-mail (junko.hoshi.d3@tohoku.ac.jp) 上田 実 宛にタイトル、所属、発表者名を連記してお送り下さい。株式会社常磐植物化学研究所の御支援による松尾仁賞(ポスター賞)を用意しております。

参加費 植物化学研究会会員および後援学会員 2,500円(学生無料)

懇親会 18時~、中島重一郎記念ホール横ホワイエにて。会費: 2,500円(学生無料)

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学大学院理学研究科 上田 実(星 純子) 電話(022)795-6557 E-mail: junko.hoshi.d3@tohoku.ac.jp

レアメタル研究会(第118回)
チタンシンポジウム(第9回)

—チタンの現状と将来—

主 催 レアメタル研究会

協 賛 日本化学会

会 期 11月28日(金)14時~

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar&YouTube)のハイブリッド研究会 東京大学生産技術研究所 An棟2F コンベンションホール(目黒区駒場4-6-1) [交通] 京王井の頭線「駒場東大前」駅/小田急線「東大沢」駅・「代々木上原」駅より徒歩10分

参加申込締切 11月21日(金)

講 演 [敬称略]※プログラムの順番等は変更する可能性があります。

1. スポンジチタンマーケットの現状と今後の展望(東邦チタニウムチタン事業部触媒・化学品事業部) 中島 健
2. 中国のチタン事情と私のアプローチ(東大院工) 朱 鴻民
3. 最近のチタン製錬・精錬研究の進展(仮)(東大生産技術研) 岡部 徹
4. チタン材料の用途開発技術(大阪チタニウムテクノロジー高機能事業部高機能材料部高機能材料営業グループ 兼 技術部新規事業推進グループ) 大西 隆
5. 総合討論(予定)

参加費 大学・省庁・メディアの関係者は無料、企業関係者は初回のみ無料

懇親会 18時より開催を予定。

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 153-8505 目黒区駒場4-6-1 Fw301 東京大学生産技術研究所 岡部 徹 研究室 宮 嵯 電話(03)5452-6314 FAX(03)5452-6313 E-mail: okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html

赤外ラマンセミナー
「振動分光学の研究最前線」

主 催 日本分光学会赤外ラマン研究部会

協 賛 日本化学会

会 期 11月28日(金)13時~17時

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 京都大学化学研究所・共同研究棟大セミナー室(宇治市五ヶ庄) [交通] JR奈良線「黄檗(おうばく)」駅徒歩7分/京阪宇治線「黄檗」駅徒歩10分 [アクセス] <http://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/sites/about/access/> 参加申込締切 11月26日(水)

1. 開会の辞(京大) 長谷川 健
 2. In-situ IR測定による固体触媒のキャラクタリゼーション(北大) 大須賀遼太
 3. 波長変換を駆使した中赤外タイムストレッチ分光法(東大) 橋本和樹
 4. 有機半導体を用いた光エネルギー変換(東大) 玉井康成
 5. 電気化学探針増強ラマン分光の現状と周辺技術の開発(理研) 横田泰之
 6. コヒーレントラマン顕微鏡を用いた薬剤イメージング(農工大) 伊藤輝将
 7. 顕微ラマン分光法と培養系を用いたヒト感染性ウイルスの検出技術開発(関学大) 岩崎啓太
 8. 閉会の辞(学習院大) 齊藤結花
- 参加費 分光学会会員および協賛学会会員 4,000円、一般 7,000円、学生無料(対面・オンラインともに)。下記HPのフォームから申し込み、指示に従い事前の入金をお願いします。
- 参加申込方法 Web
- 申込先・問合先 京都大学化学研究所 長谷川 健 <https://forms.gle/vmcF9HaBMQ2t9Ttr7>

実用表面分析セミナー 2025

主 催 日本表面真空学会関西支部

協 賛 日本化学会

会 期 12月3日(水)10時40分~17時40分

開催方式 対面式

会 場 神戸大学百年記念館六甲ホール(神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学六甲台第1キャンパス) [交通] 阪急神戸線「六甲」駅、JR「六甲道」駅、または阪神本線「御影」駅から市バス36系統「鶴甲団地」行に乗車「神大文・理・農学部前」もしくは「神大本部・工学部前」下車

参加申込締切 12月2日(火)

参加費 無料(ただし、テキスト代は表面科学基礎講座受講者、および日本表面真空学会会員には無料配布、その他一般の方で希望される方は2,000円、学生1,000円)

懇親会 12月3日(水)16時35分~17時40分、同会場にて。会費無料

参加申込方法 Web

申込先 (公社)日本表面真空学会関西支部 幹事 久保田直義(日鉄テクノロジー(株)) https://www.jvss.jp/chapter/kansai/kansai_jitsuyou26/

問合先 660-0891 尼崎市扶桑町1-8 日鉄テクノロジー(株) 久保田直義 電話(06)

6489-5777 E-mail: kubota.naoyoshi.g3y@nstec.nipponsteel.com <https://www.nstec.nipponsteel.com/>

LC- & LC/MS-DAYS 2025

—自己研鑽・公的資格取得・
ヒューマンネットワーク—

主 催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

後 援 日本化学会

会 期 12月4日(木)、5日(金)

開催方式 対面式

会 場 東レ総合研修センター (三島市末広町21-9) [交通] JR「三島」駅北口下車徒歩15分

参加申込締切 11月20日(木)入金締切時刻15時

高速液体クロマトグラフィー (HPLC) および高速液体クロマトグラフィー質量分析 (LC/MS) は汎用分離分析法として分野を問わず活用され、新しいユーザーが誕生しています。HPLC および LC/MS の初心者・中級者にとっては1日も早く関連技術を習得することが求められていますが、現場では様々なトラブルに遭遇し、その解決に苦労することもあります。一方、分析信頼性確保への社会的な高まりに応えるため、(公社)日本分析化学会は分析士資格認証制度を2010年度から創設して液体クロマトグラフィー (LC) 分析士試験を実施し、2011年度から LC/MS 分析士試験、2012年度からイオンクロマトグラフィー (IC) 分析士試験を継続実施しています。2023年までに分析士として登録された方は3,000名を超え、分析士認証制度の認知度と我が国の産業界への貢献は増大の一途です。そこで、LC 研究懇談会では HPLC、LC/MS ならびに関連技術に関する専門家の養成を目指し、参加者の基礎知識習得と分析士資格等の公的資格取得に資するため、「自己研鑽・公的資格取得・ヒューマンネットワーク」を2025年のメインテーマに掲げました。この研修会では、技術者・研究者・メーカー・ユーザーが一体となり、基礎から最新線迄を泊り込みで勉強します。また、ミッドナイトセッションでは分離科学的知識に加え、人と人との絆を改めて考える切掛けとして、ヒューマンネットワークの構築についても学ぶ機会を設けます。

参加費 30,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 141-0031 品川区西五反田1-26-2 五反田ハイツ304号 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: nakamura@jsac.or.jp <https://www.lckon.org/lcdays/lc-lcmsdays2025.html>

コロイド先端技術講座 2025 コロイド・界面化学が繋ぐ エナジーハーベスティング

主 催 日本化学会コロイドおよび界面化学部会

会 期 12月5日(金)9時55分～17時25分

開催方式 対面式

会 場 同志社大学東京サテライト・キャン

パス (中央区京橋2-719 京橋イーストビル3階) [交通] JR「東京」駅八重洲南口から徒歩6分/東京メトロ銀座線「京橋」駅6番出口から徒歩1分

参加申込締切 12月1日(月)

1. 趣旨説明 (物質・材料研究機構 MANA) 中西尚志

2. [基調講演] どこでも電源の実現へ：ペロブスカイト太陽電池の界面材料が拓く未来 (京大化学研) 若宮淳志

3. 有機無機界面制御による次世代光エネルギー変換システムの創製 (早大先進理工) 石井あゆみ

4. 電気二重層エレクトロレットを利用した振動発電素子の開発 (東北国際放射光イノベーション・スマート研究セ) 小野新平

5. 環境の湿度変化で発電する湿度変動電池 (産総研センシング技術研究部門) 駒崎友亮

6. 充放電サイクル後の硫化物全固体電池における電気化学的挙動と形態・組成変化との相関 (東レリサーチセ) 三好理子

7. 蓄熱システム：低温の廃熱を有効活用できる吸着材ハスクレイの開発 (高砂熱学工業研究開発本部技術研) 谷野正幸

8. 熱エネルギーを電力に代える：半導体増感型熱利用発電 (科学大物質理工) 松下祥子

参加費 部会員・講師紹介 10,000円、日本化学会・協賛学会員 15,000円、非会員 20,000円、学生：部会員 3,000円、非会員 5,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 101-8307 千代田区神田駿河台1-5 化学会館 公益社団法人日本化学会 コロイドおよび界面化学部会 電話 (03)3292-6161 FAX (03)3292-6318 E-mail: jigyoukikaku_02@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202509/colloid_energy2025/

化学への招待 (東北支部第354回開催) マイクロスケール化学実験による 科学的思考力の育成

—化学実験から反応式を組み立てよう—

主 催 日本化学会

会 期 12月6日(土)9時30分～17時

開催方式 対面式

会 場 秋田県立大館鳳鳴高等学校 (大館市字金坂後6) [交通] JR「大館」駅下車バス15分 (大館鳳鳴高校行) または JR「東大館」駅下車徒歩30分

参加申込締切 11月28日(金)ただし、定員 (午前の部20名、午後の部20名) になり次第

金属の酸化還元反応と電気分解について、化学基礎とその発展的な内容から5テーマを取り上げ、個人実験を行います。化学反応は試験管および培養用マイクロプレートで行います。個人実験により、受講者一人一人が仮説、実験、観察、考察といった科学的なプロセスを体験することが出来ます。その結果、自然への興味関心が高まり、問題解決能力も育成できると期待されます。同一内容で午前と午後の2回実施します。希望者数により午前・午後の部の調整を行います。

対 象 主に秋田県北在住の高校生 (引率の教職員も歓迎)

参加費 無料

参加申込方法 E-mail 「化学への招待参加申込書」と表記し、氏名、学校名、学年および午前、午後の希望を明記の下、お申し込み下さい。

申込先・問合せ先 010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部 清野秀岳 電話/FAX (018)889-2589 E-mail: seino@gipc.akita-u.ac.jp

第35回非線形反応と 協同現象研究会

主 催 非線形反応と協同現象研究会

共 催 日本化学会中国四国支部

会 期 12月6日(土)

開催方式 対面式

会 場 広島大学東広島キャンパス学生会館2F レセプションホール (東広島市西条下見1-3-1) [交通] JR山陽線「西条」駅からバスで広大中央口で下車

参加申込締切 11月5日(水)

本研究会では1989年の開催より化学、物理学、生物学、数学、工学などの広範な非平衡現象に見いだされる自己組織的な時空間パターン形成に関して議論を行っています。対象としては非線形項を含む化学反応系に見られる振動現象・パターン形成が代表例でしたが、アクティブマターとも総称される自己駆動粒子系など系にかかわらず多様なパターン形成現象に関して議論を行っています。参加者の学問的バックグラウンドが多様なこと、実験・理論・数値など特定の手法に偏っていないことも特徴です。また、参加者の年齢層も多様です。過去にも高等学校の学生・教員の参加者もおられました。学部生の発表も多く非常に活発な議論が行われています。第35回では、ロボット工学、応用数学、化学の分野で、非線形科学の視座に根差した先駆的な研究成果を上げられてきた先生方にご講演いただきます。

参加費 無料

懇親会 あり。会費：学生2,000円、一般4,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 739-8526 東広島市鏡山1-3-1 第35回非線形反応と協同現象研究会世話人 松尾宗征 電話(082)424-7411 E-mail: muneyuki@hiroshima-u.ac.jp <https://sites.google.com/view/nonlinear2025/>

第36回アイオノマーシンポジウム in 東京

—Beyond Ionomers—

主 催 アイオノマー研究会

協 賛 日本化学会

会 期 12月9日(火)13時～17時30分

開催方式 対面式

会 場 日本橋プラザ3階 (中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル) [交通] JR「東京」駅八重洲北口徒歩4分/東京メトロ銀座線・東西線・都営地下鉄「日本橋」駅B3出口徒歩1分 [アクセス] <https://nihonbashiplaza.co.jp/>

参加申込締切 11月20日(木)

三人の講師に新たな未来を見据えて、アイオノマーというカテゴリーを超えた材料の話題を提供いただいて、37年の本会シンポジウムを締めくくっていただこうという企画である。

講演

1. ガラスがゴムになる—エントロピー弾性を示す酸化ガラス (AGC) 稲葉誠二
2. CO₂ に応答してプラスチックに変化するエラストマー材料 (岐阜大) 三輪洋平
3. Liイオン伝導性高分子電解質複合材料の開発 (農工大) 富永洋一
4. ポスターセッション

※本シンポジウムでのポスター発表をご希望の方はE-mailにてご連絡下さい。当研究会の趣旨に即した内容であれば、どなたでもご参加いただけます。なお、学生の方にはポスター賞を準備しております。ポスターセッションについては申込時にあわせてご連絡下さい。ポスターセッション問合先：出光興産 (株) 西尾美帆子 E-mail: mihoko.nishio.5180@idemitsu.com さらに詳細はHP (https://www1.gifu-u.ac.jp/~kutsu_ap/future_activity.html) をご参照下さい。

参加費 一般 2,500 円、学生 1,000 円

懇親会 会場予約の都合上、あらかじめご参加を連絡下さい。会費：4,000 円程度 (予定)

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 501-1193 岐阜大学工学部化学・生命工学科 三輪洋平 電話 (058) 293-2565 E-mail: miwa.yohei.y6@f.gifu-u.ac.jp

2025 年度有機合成化学講習会

—企業における有機合成化学：

理念・製品化・ブレイクスルー—

主催 有機合成化学協会

協賛 日本化学会

会期 12 月 12 日 (金) 13 時～

開催方式 対面式

会場 化学会館 5F 会議室 (千代田区神田駿河台 1-5) [交通] JR 中央・総武線「御茶ノ水」駅御茶ノ水橋口から徒歩 3 分

参加申込締切 11 月 28 日 (金)

講義

1. 燃料電池の実用化を支えるフッ素系電解質ポリマー開発 (AGC) 平居丈嗣
2. エチレン/アクリル酸エステル共重合のための均一系錯体触媒の開発 (三菱ケミカル) 清水史彦
3. 化学的抗体位置特異的修飾法 AJICAP® の開発 (味の素) 藤井友博
4. SHIONOGI における原薬開発プロセスの紹介 (塩野義製薬) 釣谷孝之

情報交換・交流会 (講義後、立食形式を予定。会費は参加費に含む)

参加費 主催および共催/協賛等会員：企業 18,000 円、学・公的機関 14,000 円、学生会員 8,000 円 ※その他詳細は下記 HP でご確認ください。

参加申込方法 Web

申込先・問合先 有機合成化学協会 E-mail: ssocj-event@ssocj.or.jp https://www.ssocj.jp/event/kousyukai_2025/

日本プロセス化学会東四国地区 フォーラム 2025 年度第 2 回 (第 38 回) セミナー

主催 日本プロセス化学会東四国支部

後援 日本化学会

会期 12 月 13 日 (土) 14 時～18 時

開催方式 対面式

会場 徳島文理大学薬学部 (徳島キャンパス) 24 号館 302 教室 (徳島市山城町西浜傍示 180) [交通] JR「徳島」駅より (南部循環)「左回り」または「山城町」(ふれあい健康館) 行バス約 10 分「文理大学前」下車

参加申込締切 当日受付

若手研究者ならびに院生、学生を対象とした講演会で、プロセス化学の醍醐味、重要性を学ぶセミナーを行っています。多くの大学院生、学部学生、教職員ならびに企業の研究者のご来聴を歓迎します。講演会の後、15 程度程度のポスター発表を受け付けます。発表をご希望の方は、下記の連絡先までお申し込み下さい。

また、講演後に講師の先生とフォーラム幹事を交えた情報交換会・ポスター発表を行います。

講演

1. 受託合成におけるスケールアップ～mL から kL へ (讃岐化学工業) 内海圭一郎
座長：安芸晋治 (大塚製薬)
2. 有機化学的アプローチで挑む免疫調節分子の創出と機能解析 (徳島大院医歯薬) 井貫晋輔
座長：南川典昭 (徳島大)

参加費 無料

情報交換会・ポスター発表 参加費：一般 1,000 円、学生 500 円 (ポスター代表発表者は無料)

参加申込方法 郵送等

申込先・問合先 770-8514 徳島市山城町西浜傍示 180 徳島文理大学薬学部 加来裕人 電話 (088) 602-8452 FAX (088) 655-3051 E-mail: kaku@ph.bunri-u.ac.jp

第 12 回分散凝集科学技術講座 —分散・凝集のすべて—

主催 日本化学会コロイドおよび界面化学部会

共催 日本化学会

会期 12 月 16 日 (火) 9 時 10 分～17 日 (水) 16 時 50 分

開催方式 オンライン

参加申込締切 12 月 16 日 (火)

分散・凝集技術は、塗料、セラミックス、電池材料をはじめとする工業分野だけでなく、食品、化粧品、医薬品、農業などの幅広い領域において重要な基盤技術です。分散系における粒子の表面状態、ナノ構造、粒子間の相互作用など、ミクロスコピックな現象がマクロスコピックな物性にどのように影響するかについては、今なお多くの課題が残されています。本講座は、これまでの 11 回の開催を通じて培った知見に基づき、今年度は特に基礎部分の内容を充実させました。分散・凝集の原理から始まり、測定・評価手法、さらには実際の応用例まで体系的に学べる構成

となっています。特に初心者の方や基礎を再確認したい方にも理解しやすいよう、解説を強化しています。また、参加者の多様なニーズに応えるため、2 日目の午後には選択制の 2 コースを設け、より専門的な内容も学べるようにしています。さらに、全プログラムは見逃し配信にも対応し、後から両コースを視聴することも可能です。

詳細ならびに参加お申込み方法は下記 HP よりご確認ください。

参加費 日本化学会会員 35,000 円

懇親会 なし

参加申込方法 Web

申込先・問合先 101-8307 千代田区神田駿河台 1-5 日本化学会コロイドおよび界面化学会 E-mail: jigyoukikaku_03@colloid.csj.jp <https://colloid.csj.jp/202508/2025pt/>

第 54 回東海地区 高校化学教育セミナー

主催 日本化学会東海支部化学教育協議会

会期 12 月 21 日 (日) 10 時 10 分～16 時 30 分

開催方式 対面式

会場 名城大学天白キャンパス (名古屋市天白区塩釜口 1-501) [交通] 名古屋市営地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅下車 1 番出口より徒歩 12 分

参加申込締切 12 月 10 日 (水) ただし定員 60 名になり次第

半世紀以上続いてきた、現場の化学教育の活性化とレベル向上を目的とするイベントです。新しいトピックや化学の基礎となる講演の聴講と、実験等の教示法・技術の体験ができるイベントです。

講演

1. 有機物が主役を担う蓄電デバイス (愛工大・日本化学会東海支部) 森田 靖

実 験

2. 限界半径比を意識した結晶格子モデルの作製 (岐阜高) 日比野良平

参加費 日本化学会会員 (教育会員) 1,000 円、非会員 2,000 円 (ただし、新任教員・若手講師は非会員でも無料)。昼食は各自ご用意下さい。

参加申込方法 Web

申込先・問合先 名城大学農学部 前林正弘 電話 (052) 832-1151 FAX (052) 833-5524 E-mail: mmae@meijo-u.ac.jp ※申込詳細は東海支部 HP (<https://tokai.chemistry.or.jp/schedule/>) の本行事欄参照

令和 7 年度日本化学会東北支部 秋田地区講演会ならびに ナノマテリアルコロキウム

主催 日本化学会東北支部

会期 12 月 24 日 (水) 12 時 45 分～25 日 (木) 17 時

開催方式 対面式

会場 秋田大学国際資源学部附属鉱業博物館 3F 講堂 (秋田市手形字大沢 28-2) [交通] JR「秋田」駅西口バス乗り場 12 番線 (「大学病院」行き「手形山」経由) 乗車約 10 分「鉱業博物館入口」下車徒歩約 5 分

参加申込締切 12 月 19 日 (金)

1. 宮元展義 (福岡工大)
2. 松田翔風 (弘前大)
3. 二宮 航 (三菱ケミカル)
4. 吉田曉弘 (弘前大)

参加費 主催および共催団体の会員無料、非会員 1,000 円、学生無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 010-8502 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学大学院理工学研究科 齊藤寛治 電話 (018) 889-2396 E-mail: saitok@gipc.akita-u.ac.jp

第 27 回名古屋メダルセミナー

主 催 名古屋メダルセミナー組織委員会

後 援 日本化学会

会 期 1 月 20 日 (火) 10 時~17 時 50 分

開催方式 対面式

会 場 名古屋大学坂田・平田ホール (名古屋市千種区不老町) [交通] 名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」駅 2 番出口より徒歩 5 分

参加申込締切 1 月 9 日 (金)

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋メダルセミナー組織委員会 電話 (052) 789-4501 E-mail: nagoya_medal@itbm.nagoya-u.ac.jp <https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/category/symp/nagoya>

“講演会・講習会”欄／“研究発表会—発表募集”欄への投稿について

①掲載対象

①“講演会・講習会”欄、“発表募集”欄に掲載する行事は、日本化学会の本部、支部、部会、研究会が、主催、共催、協賛、後援するものに限りです。

②掲載は、当会の主催を除き、事前に共催・協賛・後援依頼申請後、許諾認可番号を受けたものが対象となります。許諾認可番号のない行事の原稿は掲載できませんのでご注意ください。

③「化学と工業」誌“行事一覧”は、日本化学会ホームページ・イベントカレンダーに掲載されます。

②掲載欄

①掲載は、“講演会・講習会”欄または“発表募集”欄のどちらか 1 回に限りです。両方への掲載はできません。

②“講演会・講習会”欄に掲載する内容は、“主催者側からの依頼による講演などが中心の行事”の参加募集です。

③“発表募集”欄に掲載する内容は“一般応募による講演などが中心の行事”の発表募集です。

③参加登録費

原則として日本化学会個人会員が主催者の会員と同等の条件 (参加費用) で参加できることが化工誌への掲載条件です。参加費の設定が複数ある場合には、別に本会会員の参加費を明記して下さい。例: ○○学会会員 10,000 円, 日本化学会会員 10,000 円, 共催団体 15,000 円, 非会員 20,000 円

④原稿締切日と掲載月

①原稿締切日は、毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。

②通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

⑤原稿作成と投稿方法

①原稿は専用投稿フォーマットを使用して作成して下さい。

②制限文字数は 900 字です。900 字以内であれば掲載料は無料ですが、超過した場合には超過分 900 字につき 17,000 円の有料掲載となります。

③専用フォーマット使用方法

- A) フォーマットに記載されている項目以外に項目が必要な場合は、「記事内容」欄の中で表記して下さい。
- B) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- C) 機種に依存する文字の注意: 機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

・半角カナ: アｶﾀ, 記号 (約物): ,。[(・/ 等

・ローマ数字: I II III IV, 丸数字: ①②③④

※アルファベットの I, V, X, Y を組み合わせてローマ数字を表現。

※文字の代わりに (1) (2) の表記を使用。

※組文字は全角 (株) (有) mm での表記にする。

D) テキスト上で表現できない文字 (外字、作字) については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

E) 文書中で書式指定 (上付き、下付き、イタリック体) を希望の場合は、タグ付け (HTML 形式) をして下さい。

【見本】・上付: $P^{2+} \rightarrow P < \text{SUP} > 2 + < / \text{SUP} >$

・下付: $\text{CO}_2 \rightarrow \text{CO} < \text{SUB} > 2 < / \text{SUB} >$

・イタリック: *italic* $\rightarrow < \text{I} > italic < / \text{I} >$

④原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後、送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。

⑤投稿完了後、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。

⑥投稿原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑦送信後に大幅な訂正が生じた場合

①原稿締切 (当月 25) 日まで: 投稿フォーマットの“連絡事項”欄に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mail にて三美印刷宛その旨をご通知下さい。

②原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑧問合先

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部

電話 (03) 6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp

【投稿・請求に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局

E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

日本化学会 共催・協賛・後援を希望される場合の手続きについて

本会の共催・協賛・後援を希望される場合には、本会ホームページ (www.chemistry.or.jp/application/sponsorship/index.html) より申請をお願いしております。審査の後、可否のお知らせを E-mail にてお送りいたします。

なお許諾の後、本誌“講演会・講習会”、“研究発表募集”、“研究発表プログラム”欄への掲載を希望される場合は、それぞれの掲載要項

をご参照のうえ、本会ホームページよりご投稿下さい。

問合先 日本化学会 総務部「共催・協賛・後援」係

101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

電話 (03) 3292-6162 FAX (03) 3292-6318

E-mail: info@chemistry.or.jp